

2000年の労働生産性の国際比較

日本の生産性 OECD30カ国中第20位 先進主要7カ国中では最下位

財団法人 社会経済生産性本部
会長代行 渡里杉 一郎

社会経済生産性本部は2002年版の労働生産性の国際比較をまとめた。OECDのデータによるOECD加盟国間の比較とともに、世界銀行などのデータによるOECD以外の国々の比較も行っている。労働生産性の測定は従来どおり購買力平価で評価したドル換算GDPを就業者で除している。

主な結果は以下の通り。

- 1 OECD諸国間比較では、2000年の日本の労働生産性(就業者1人当りの付加価値)は51,129ドル(798万円)でOECD30カ国中第20位で、主要先進7カ国間では最下位であった。日本は1998年から3年連続で第20位、主要先進7カ国間で最下位となっている。
- 2 2000年の国民1人当りGDPは購買力平価換算で25,968ドル(405万円)で主要先進7カ国比較では第3位、OECD30カ国比較では第13位であった。
- 3 主要先進7カ国にオランダなどを加え、国民1人当りGDP、労働生産性、就業率の変化を見ると、ほとんどの国で労働生産性の改善と就業率の改善が両立していないが、オランダなどでは労働生産性も向上し就業率も高まっている。
- 4 主要先進7カ国+2カ国間の比較での労働生産性等のポジショニングをみると、日本はOECD平均や英国などと近い位置にいるが、米国とはかなり離れた位置づけになっている。
- 5 OECD加盟国以外で労働生産性水準が高いのは香港、イスラエルなどでいずれも50,000ドルを越える水準になっている。躍進が目覚ましいとされる中国は56か国中第50位で国全体としては低生産性国になっている。
- 6 労働生産性改善率では中国が49カ国中第1位で、1990年から2000年の間に年率平均9.0%で成長している。日本は1.1%で第32位であった。

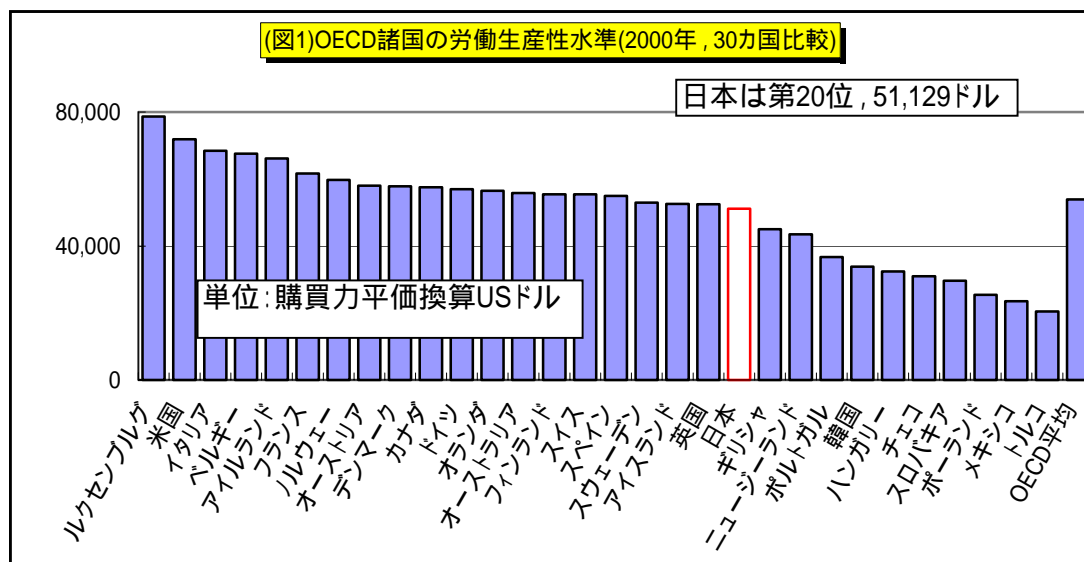
問い合わせ：総合企画部 本間 TEL03-3409-1137

この調査はOECDや世界銀行などのデータに基づき世界各国について、国民1人当り国内総生産(GDP per capita)、国民経済生産性(就業者1人当り国内総生産=GDP労働生産性)、主要先進7カ国の産業別・実質付加価値労働生産性などを比較したものである。

GDP労働生産性を測定するに当り、国別の付加価値をドルベースに換算比較しているが、その際の各国の通貨の評価は名目購買力平価で評価されたものを用いている。2000年のOECDの購買力平価は1ドル=156円、世界銀行のそれは1ドル=154円になっている。購買力平価というのは、ある組み合わせの一定の商品を購入するのに必要な両国の通貨の比率を平均化した値である。例えばマクドナルドのハンバーガーを例にとると、質量とも同じものが米国で1ドル、日本で60円で売られているとすれば、ハンバーガーの購買力平価は1ドル=60円となる。このような計測をGDPに対応すると考えられる商品群に適応したものである。したがって、米国の財やサービスの価格を基準に比較国の財やサービスの価格の高低を考慮した通貨の評価になる。

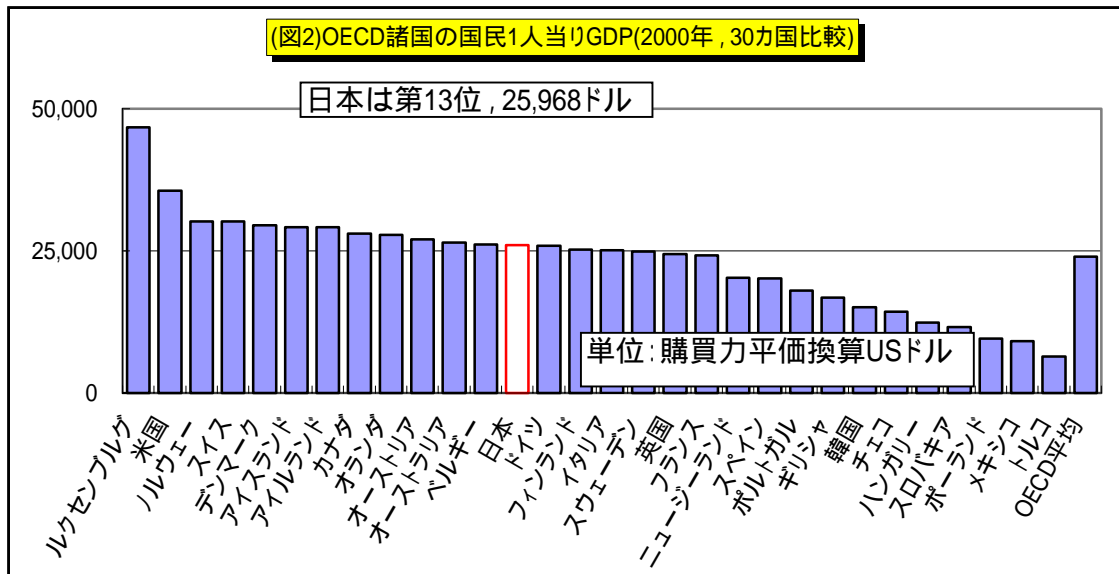
(1)日本の2000年のGDP労働生産性はOECD30か国中第20位(本文p.9)

購買力平価(1ドル=156円)で評価した2000年の日本のGDP労働生産性はOECD加盟30か国中第20位で51,129ドル(798万円)であった。第1位はルクセンブルグ、第2位は米国、第3位はイタリアであった(図1)。



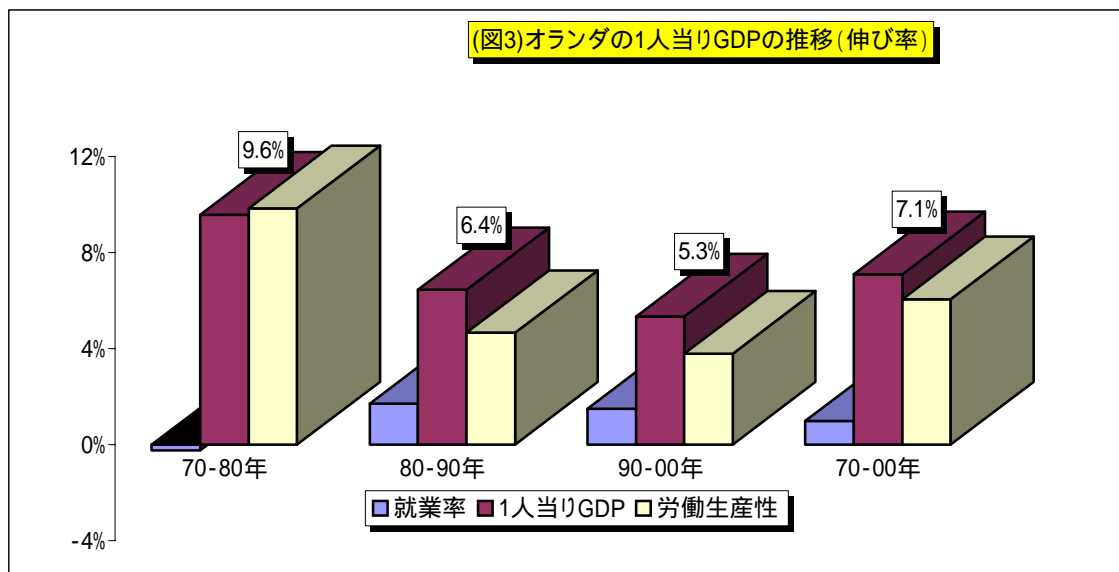
(2)日本の2000年の国民1人当りGDPはOECD30か国中第13位(本文p.2)

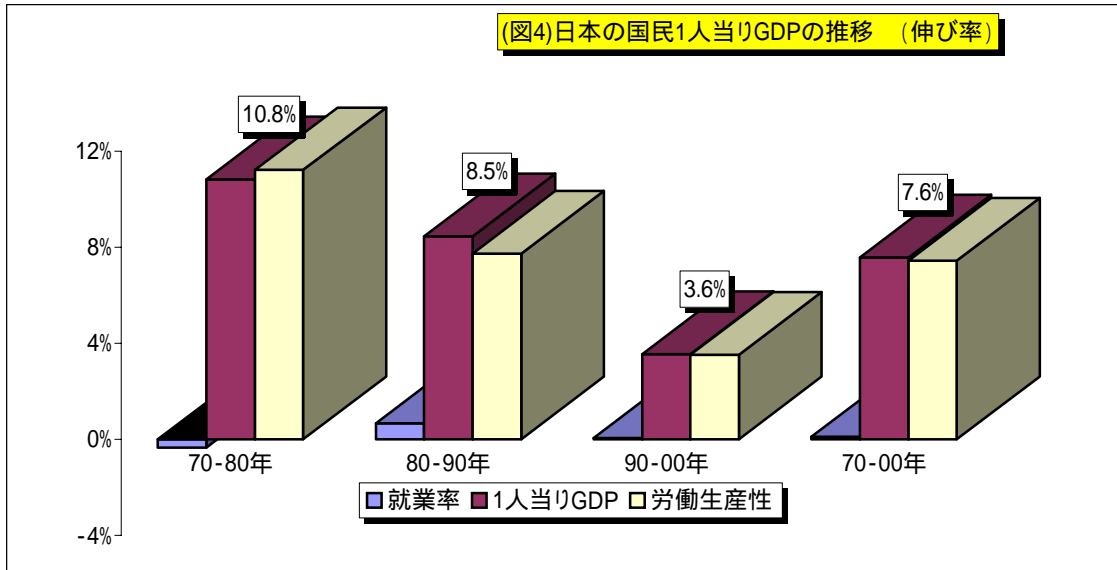
1年間の国民の豊かさを表す代表的な指標である国民1人当りGDPは25,968ドル(405万円)でOECD加盟30か国中第13位、主要先進7カ国比較では第3位であった(図2)。また、いま世界で注目をあびている中国は、世界163カ国比較で第90位で、3,976ドル(61万円)になっている(本文p.33)。



(3)オランダなどでは労働生産性の向上と就業率の上昇の両立がしている(本文p.17)

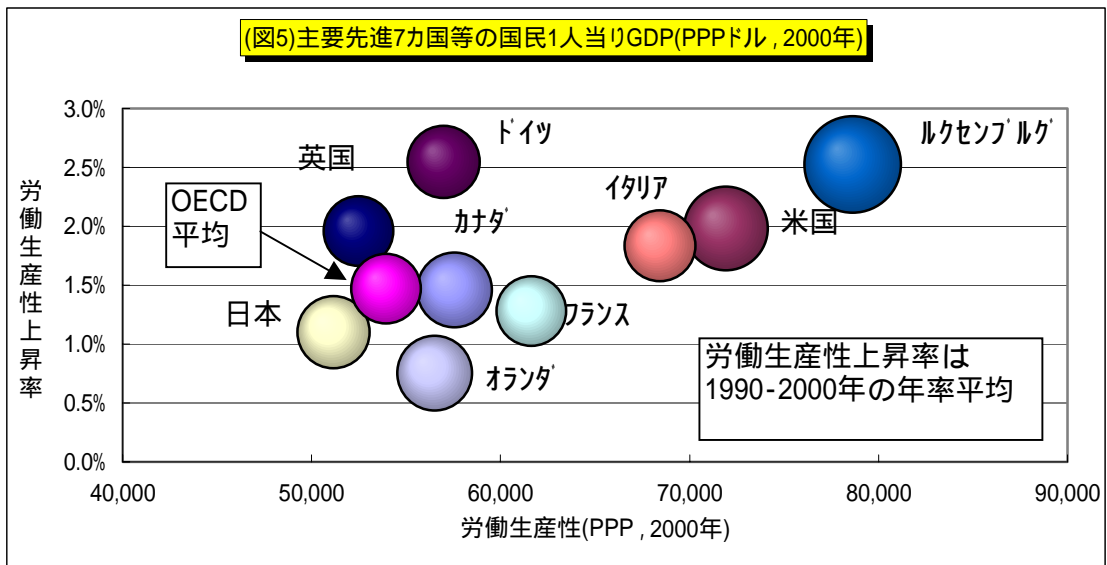
オランダやルクセンブルグでは労働生産性の向上と就業率の上昇を両立させ、国民1人当りGDPを高めている。日本など先進主要7カ国は国民1人当りのGDPの増大は労働生産性向上に大きく依存しており、就業率の改善による国民1人当りGDPの増大寄与はほとんどない(図3~4)。





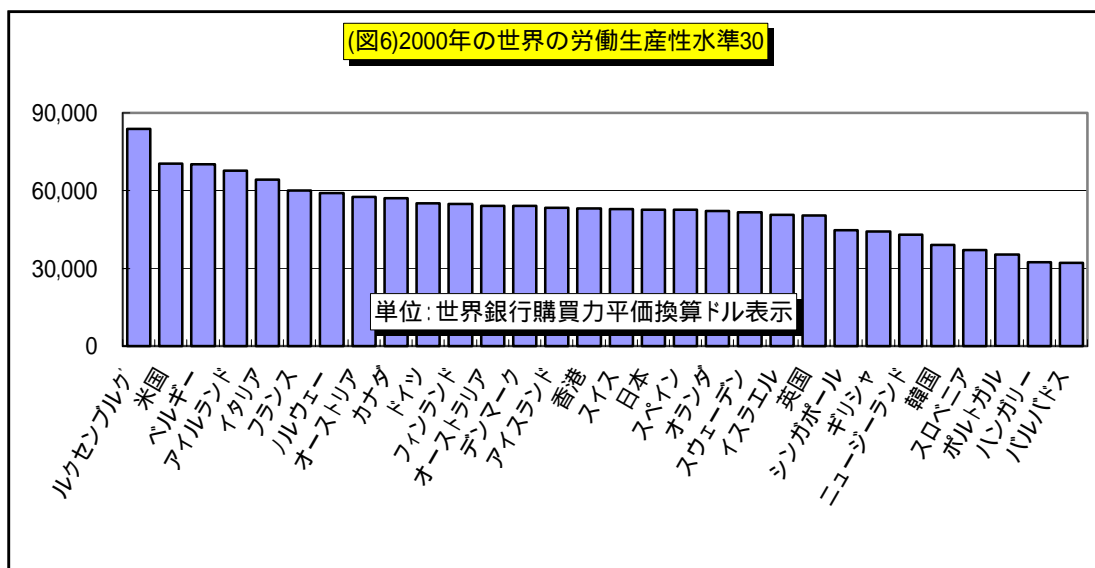
(4)日本の労働生産性等ポジショニングは下位グループ(本文p.20)

主要先進7カ国，オランダ，ルクセンブルグの国民1人当りGDP，労働生産性水準，労働生産性上昇率を同時に図示してみると，日本は下位グループに属しており，OECD平均やイギリスなどの近い位置にある．国民1人当りGDPは十分大きいが生産性パフォーマンスでは見劣りがする．現実の取引での名目値も考慮すると最も劣っているとみられる．



(5)OECD加盟国以外では香港，イスラエルで労働生産性が高い(本文p.34)

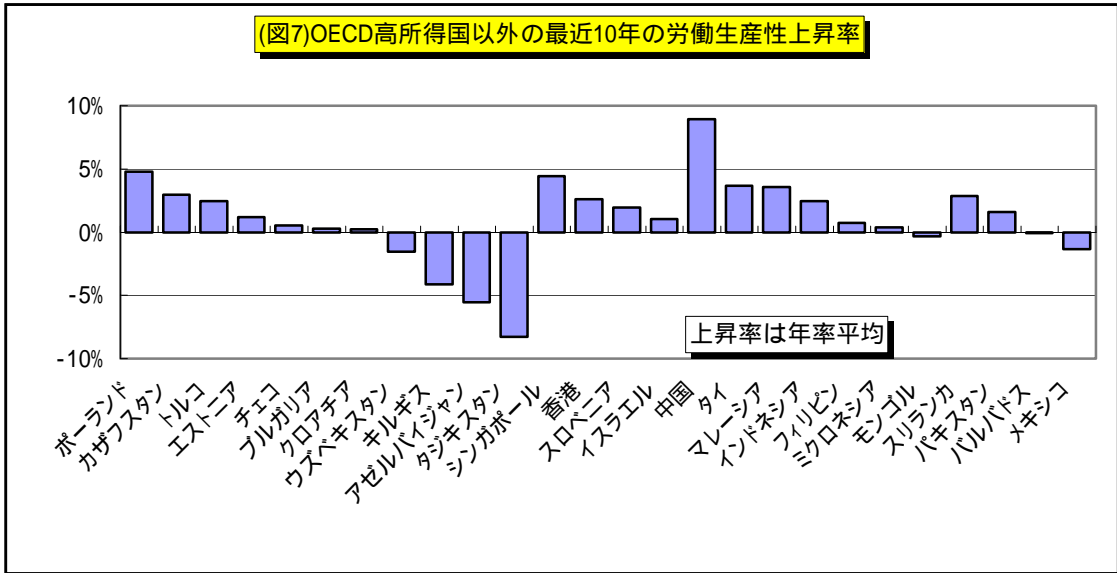
世界銀行のデータなどで計測したものでは，OECD加盟国以外で労働生産性が高いのは香港(56カ国中第15位，53,259ドル)，イスラエル(同第21位，50,641ドル)などでその水準は50,000ドルを越える．そのほかのアジア国々ではシンガポールの労働生産性水準が高く(同第23位，44,795ドル)，躍進目覚ましいとされる中国は，国全体としては第50位(7,055ドル)でまだ低生産性国となっている(図5)．



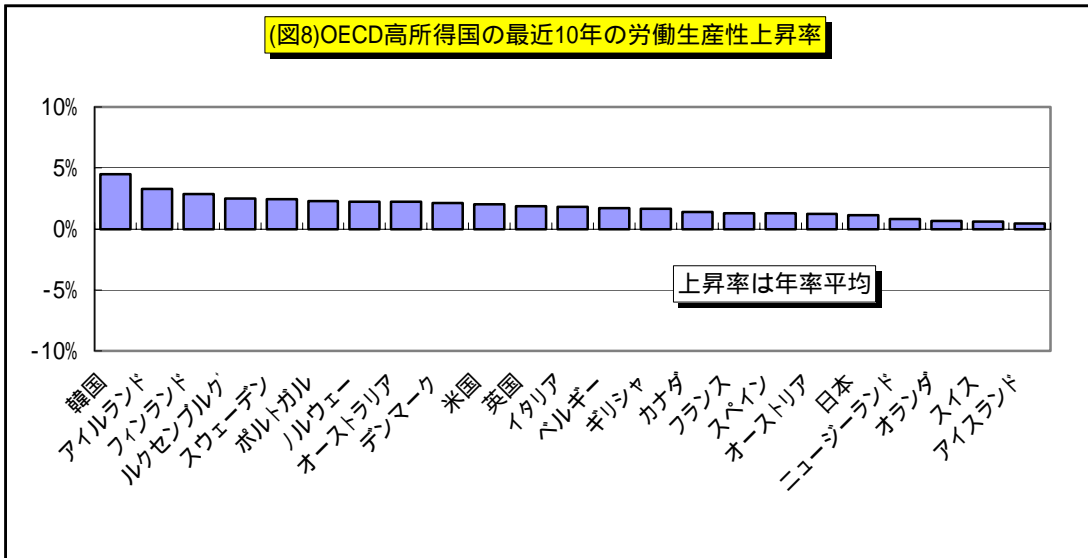
(6)労働生産性の改善率では中国がナンバーワン(本文p.40)

1990～2000年の年率平均の実質GDP労働生産性上昇率をみると中国が9.0%で49カ国中第1位となっている．年率9.0%の労働生産性改善率が10年続くと規模は2.37倍となるから，驚異的なスピードで生産性の改善がなされていることになる．第2位はポーランドの4.8%，第3位は韓国の4.5%となっている．シンガポール，韓国，マレーシアなども生産性改善率が高く，アジアの国々が上位に名を連ねている．日本は第32位で年率平均1.1%の生産性改善率になっている．ニューエコノミーを謳歌した米国では製造業での生産性改善率は目覚しかったが，経済全体では年率平均で2.0%の改善率で第20位になっている(図5～6)．

(図7)OECD高所得国以外の最近10年の労働生産性上昇率



(図8)OECD高所得国の最近10年の労働生産性上昇率



(表1)OECD諸国の労働生産性(1998年～2000年)

順	1998年	労働生産性	1999年	労働生産性	2000年	労働生産性
1	ルクセンブルグ	73,418	ルクセンブルグ	75,502	ルクセンブルグ	78,626
2	米国	65,718	米国	68,355	米国	71,923
3	イタリア	64,589	イタリア	66,138	イタリア	68,434
4	ベルギー	62,315	ベルギー	64,584	ベルギー	67,531
5	フランス	57,619	アイルランド	60,905	アイルランド	66,128
6	アイルランド	57,324	フランス	59,380	フランス	61,617
7	ノルウェー	55,916	ノルウェー	57,352	ノルウェー	59,718
8	ドイツ	53,422	オーストリア	55,263	オーストリア	57,998
9	オーストリア	53,276	カナダ	55,260	デンマーク	57,825
10	カナダ	53,261	オーストラリア	55,213	カナダ	57,548
11	デンマーク	53,175	デンマーク	55,079	ドイツ	56,985
12	スペイン	53,125	ドイツ	54,945	オランダ	56,495
13	オランダ	53,076	オランダ	54,646	オーストラリア	55,786
14	オーストラリア	52,810	スペイン	53,946	フィンランド	55,475
15	スイス	51,653	スイス	53,168	スイス	55,399
16	フィンランド	50,757	フィンランド	52,180	スペイン	54,997
17	英国	49,063	スウェーデン	51,131	スウェーデン	52,994
18	スウェーデン	49,032	英国	50,488	アイスランド	52,564
19	アイスランド	48,649	アイスランド	50,327	英国	52,456
20	日本	47,524	日本	48,883	日本	51,129
21	ニュージーランド	39,942	ギリシャ	42,234	ギリシャ	44,982
22	ギリシャ	39,778	ニュージーランド	41,956	ニュージーランド	43,456
23	ポルトガル	34,121	ポルトガル	35,337	ポルトガル	36,729
24	ハンガリー	29,638	韓国	31,532	韓国	33,792
25	韓国	28,439	ハンガリー	30,386	ハンガリー	32,398
26	チェコ	28,196	チェコ	29,261	チェコ	31,002
27	スロバキア	26,122	スロバキア	27,922	スロバキア	29,628
28	ポーランド	21,199	ポーランド	23,204	ポーランド	25,392
29	メキシコ	20,824	メキシコ	21,591	メキシコ	23,558
30	トルコ	19,011	トルコ	17,921	トルコ	20,415
	OECD平均	49,479	OECD平均	51,277	OECD平均	53,917

1)単位：購買力平価換算USドル表示。

2)資料 OECD： National Accounts of OECD Countries Vol.1 2002 Edition，
Labour Force Statistics 1992 Edition，2001 Edition。

(表2)OECD諸国の国民1人当りGDP(1998年～2000年)

順	1998年	1人当りGDP	1999年	1人当りGDP	2000年	1人当りGDP
1	ルクセンブルグ	40,559	ルクセンブルグ	43,119	ルクセンブルグ	46,712
2	米国	32,230	米国	33,725	米国	35,619
3	ノルウェー	28,362	ノルウェー	29,023	ノルウェー	30,172
4	スイス	27,904	スイス	28,779	スイス	30,132
5	デンマーク	27,004	デンマーク	28,021	デンマーク	29,487
6	アイスランド	26,277	アイスランド	27,798	アイスランド	29,182
7	オランダ	25,218	オランダ	26,485	アイルランド	29,179
8	カナダ	25,003	カナダ	26,442	カナダ	28,016
9	オーストリア	24,559	アイルランド	25,875	オランダ	27,839
10	日本	24,475	オーストリア	25,692	オーストリア	27,004
11	オーストラリア	24,229	オーストラリア	25,617	オーストラリア	26,497
12	ドイツ	23,704	日本	24,934	ベルギー	26,165
13	ベルギー	23,532	ベルギー	24,672	日本	25,968
14	アイルランド	23,131	ドイツ	24,601	ドイツ	25,893
15	イタリア	23,125	イタリア	23,938	フィンランド	25,251
16	英国	22,459	スウェーデン	23,482	イタリア	25,161
17	フィンランド	22,123	フィンランド	23,408	スウェーデン	24,845
18	フランス	22,060	英国	23,285	英国	24,398
19	スウェーデン	22,043	フランス	23,068	フランス	24,216
20	ニュージーランド	18,275	ニュージーランド	19,365	ニュージーランド	20,282
21	スペイン	18,014	スペイン	19,046	スペイン	20,124
22	ポルトガル	16,220	ポルトガル	17,067	ポルトガル	18,021
23	ギリシャ	15,006	ギリシャ	15,797	ギリシャ	16,812
24	チェコ	13,328	韓国	13,648	韓国	15,055
25	韓国	12,246	チェコ	13,554	チェコ	14,282
26	ハンガリー	10,837	ハンガリー	11,503	ハンガリー	12,440
27	スロバキア	10,796	スロバキア	11,156	スロバキア	11,646
28	ポーランド	8,486	ポーランド	9,008	ポーランド	9,587
29	メキシコ	8,096	メキシコ	8,351	メキシコ	9,152
30	トルコ	6,271	トルコ	5,966	トルコ	6,438
	OECD平均	21,783	OECD平均	22,678	OECD平均	23,956

1)単位：購買力平価換算USドル表示。

2)資料 OECD：National Accounts of OECD Countries Vol.1 2002 Edition。

(表3)就業率，国民1人当りGDP，労働生産性の変化率の推移

日本	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年	オランダ	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年
就業率	-0.4%	0.7%	0.0%	0.1%	就業率	-0.2%	1.7%	1.5%	1.0%
1人当りGDP	10.8%	8.5%	3.6%	7.6%	1人当りGDP	9.6%	6.4%	5.3%	7.1%
労働生産性	11.2%	7.7%	3.5%	7.4%	労働生産性	9.8%	4.7%	3.8%	6.1%
米国	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年	カナダ	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年
就業率	1.2%	0.8%	0.3%	0.8%	就業率	1.8%	0.5%	0.2%	0.9%
1人当りGDP	9.3%	6.6%	4.5%	6.8%	1人当りGDP	10.4%	6.4%	4.2%	7.0%
労働生産性	8.0%	5.7%	4.2%	6.0%	労働生産性	8.4%	5.8%	3.9%	6.0%
フランス	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年	イタリア	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年
就業率	-0.1%	-0.2%	0.1%	-0.1%	就業率	0.1%	0.4%	-0.4%	0.0%
1人当りGDP	10.1%	6.4%	3.4%	6.6%	1人当りGDP	10.6%	7.1%	4.4%	7.3%
労働生産性	10.2%	6.6%	3.4%	6.7%	労働生産性	10.6%	6.7%	4.8%	7.3%
ルクセンブルグ	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年	英国	70-80年	80-90年	90-00年	70-00年
就業率	0.5%	1.4%	1.8%	1.2%	就業率	0.1%	0.4%	-0.1%	0.1%
1人当りGDP	9.4%	9.2%	6.7%	8.4%	1人当りGDP	9.3%	7.4%	4.3%	7.0%
労働生産性	8.9%	7.7%	4.9%	7.1%	労働生産性	9.2%	7.0%	4.3%	6.8%
ドイツ	70-80年	80-90年	91-00年						
就業率	-0.1%	0.9%	-0.3%						
1人当りGDP	10.2%	6.9%	4.4%						
労働生産性	10.1%	6.1%	4.7%						

1)変化率は年率平均。

2)資料 OECD： National Accounts of OECD Countries Vol.1 2002 Edition，
Labour Force Statistics 1992 Edition，2001 Edition。

3)70-80年，80-90年のドイツは西ドイツ。

(表4)世界銀行等データによる労働生産性(2000年)

順	2000年	グループ	労働生産性	順	2000年	グループ	労働生産性
1	ルクセンブルグ	OECD高所得	83,767	31	チェコ	欧州中央アジア	30,374
2	米国	OECD高所得	70,475	32	スロバキア	欧州中央アジア	28,608
3	ベルギー	OECD高所得	70,131	33	カザフスタン	欧州中央アジア	26,058
4	アイルランド	OECD高所得	67,810	34	ポーランド	欧州中央アジア	23,976
5	イタリア	OECD高所得	64,217	35	メキシコ	ラテンカリブ	23,403
6	フランス	OECD高所得	60,063	36	マレーシア	東アジア太平洋	22,637
7	ノルウェー	OECD高所得	59,216	37	トルコ	欧州中央アジア	21,603
8	オーストリア	OECD高所得	57,487	38	エストニア	欧州中央アジア	21,222
9	カナダ	OECD高所得	57,187	39	クロアチア	欧州中央アジア	20,376
10	ドイツ	OECD高所得	55,234	40	ロシア	欧州中央アジア	17,707
11	フィンランド	OECD高所得	54,924	41	リトアニア	欧州中央アジア	15,393
12	オーストラリア	OECD高所得	54,165	42	ヨルダン	中東北アフ	15,353
13	デンマーク	OECD高所得	54,159	43	ラトビア	欧州中央アジア	14,073
14	アイスランド	OECD高所得	53,283	44	ブルガリア	欧州中央アジア	13,394
15	香港	その他高所得	53,259	45	タイ	東アジア太平洋	11,781
16	スイス	OECD高所得	52,856	46	フィリピン	東アジア太平洋	10,806
17	日本	OECD高所得	52,659	47	スリランカ	南アジア	10,773
18	スペイン	OECD高所得	52,598	48	キルギス	欧州中央アジア	7,540
19	オランダ	OECD高所得	52,064	49	インドネシア	東アジア太平洋	7,128
20	スウェーデン	OECD高所得	51,770	50	中国	東アジア太平洋	7,055
21	イスラエル	その他高所得	50,641	51	パキスタン	南アジア	7,001
22	英国	OECD高所得	50,531	52	ウズベキスタン	欧州中央アジア	6,788
23	シンガポール	その他高所得	44,795	53	アゼルバイジャン	欧州中央アジア	6,379
24	ギリシャ	OECD高所得	44,159	54	モンゴル	東アジア太平洋	5,287
25	ニュージーランド	OECD高所得	43,000	55	タジキスタン	欧州中央アジア	4,072
26	韓国	OECD高所得	39,013	56	カンボジア	東アジア太平洋	3,295
27	スロベニア	その他高所得	37,018				
28	ポルトガル	OECD高所得	35,248				
29	ハンガリー	欧州中央アジア	32,328				
30	バルバドス	ラテンカリブ	32,092				

1)単位：世界銀行購買力平価換算ドル表示

2)資料 世界銀行：2002 World Development Indicators，OECD：Labour Force Statistics 2001 Edition，アジア開発銀行：Key Indicators 2001。

3)東アジア太平洋=東アジア太平洋沿岸諸国，欧州中央アジア=ヨーロッパ・中央アジア，ラテンカリブ=ラテンアメリカ・カリブ海沿岸諸国，中東北アフ=中東・北アフリカ，サハラ以南=サハラ以南アフリカ，OECD高所得=OECD加盟の高所得国，その他高所得=その他の高所得国。

(表5)世界銀行等データによる労働生産性上昇率(1990年～2000年)

順	1990～2000年	グループ	生産性上昇率	順	1990～2000年	グループ	生産性上昇率
1	中国	東アジア太平洋	9.0%	31	エストニア	欧州中央アジア	1.2%
2	ポーランド	欧州中央アジア	4.8%	32	日本	OECD高所得	1.1%
3	韓国	OECD高所得	4.5%	33	イスラエル	その他高所得	1.0%
4	シンガポール	その他高所得	4.4%	34	ニュージーランド	OECD高所得	0.8%
5	タイ	東アジア太平洋	3.7%	35	フィリピン	東アジア太平洋	0.7%
6	マレーシア	東アジア太平洋	3.5%	36	オランダ	OECD高所得	0.7%
7	アイルランド	OECD高所得	3.3%	37	スイス	OECD高所得	0.6%
8	カザフスタン	欧州中央アジア	3.0%	38	チェコ	欧州中央アジア	0.5%
9	フィンランド	OECD高所得	2.9%	39	アイスランド	OECD高所得	0.4%
10	スリランカ	南アジア	2.8%	40	ミクロネシア	東アジア太平洋	0.4%
11	香港	その他高所得	2.6%	41	ブルガリア	欧州中央アジア	0.3%
12	ルクセンブルク	OECD高所得	2.5%	42	クロアチア	欧州中央アジア	0.2%
13	インドネシア	東アジア太平洋	2.5%	43	バルバドス	ラテンカリブ	-0.1%
14	スウェーデン	OECD高所得	2.5%	44	モンゴル	東アジア太平洋	-0.4%
15	トルコ	欧州中央アジア	2.4%	45	メキシコ	ラテンカリブ	-1.3%
16	ポルトガル	OECD高所得	2.3%	46	ウズベキスタン	欧州中央アジア	-1.6%
17	ノルウェー	OECD高所得	2.2%	47	キルギス	欧州中央アジア	-4.1%
18	オーストラリア	OECD高所得	2.2%	48	アゼルバイジャン	欧州中央アジア	-5.6%
19	デンマーク	OECD高所得	2.1%	49	タジキスタン	欧州中央アジア	-8.3%
20	米国	OECD高所得	2.0%				
21	スロベニア	その他高所得	1.9%				
22	英国	OECD高所得	1.9%				
23	イタリア	OECD高所得	1.8%				
24	ベルギー	OECD高所得	1.7%				
25	ギリシャ	OECD高所得	1.7%				
26	パキスタン	南アジア	1.6%				
27	カナダ	OECD高所得	1.4%				
28	フランス	OECD高所得	1.3%				
29	スペイン	OECD高所得	1.3%				
30	オーストリア	OECD高所得	1.2%				

1)単位：実質労働生産性年率平均上昇率。

2)資料 世界銀行：2002 World Development Indicators，OECD：Labour Force Statistics 2001Edition，アジア開発銀行：Key Indicators 2001。

3)東アジア太平洋=東アジア太平洋沿岸諸国，欧州中央アジア=ヨーロッパ・中央アジア，ラテンカリブ=ラテンアメリカ・カリブ海沿岸諸国，中東北アフリカ=中東・北アフリカ，サハラ以南=サハラ以南アフリカ，OECD高所得=OECD加盟の高所得国，その他高所得=その他の高所得国。